

行動変容を促す医薬品教育プログラム

1. 小単元名「保健・医療機関と医薬品の有効利用」

2. 本時のねらい

- ・医薬品には、主作用と副作用があり、使用回数、使用時間、使用量など、医薬品ごとに定められた使用方法があり正しく使用する必要があることがわかる。さらに、正しく使用することができるようにする。

※「健康を保持増進し病気の予防をするためには、保健所や保健センター、医療機関などを必要に応じて適切に利用することが大切であることがわかる。」については、次の時間の「共に健康に生きる社会」のところで押さえる。

3. 本時の評価規準

- ・医薬品の正しい使い方について理解することができる。

時間	学習内容・学習活動	教員の指導・評価	資料
授業前	準備	中学校教員 ・医薬品の有効利用 ワークシートを準備する。 ・薬の外箱を準備する	・ワークシート 生徒人数印刷する。
導入	●自己紹介 1. 本時の課題をつかむ。 ○体の調子が悪いとき、どうやったら治った経験がありますか。 ・よく寝た。 ・栄養のあるものを食べた。 ・薬を飲んで寝た。 ・病院に行った。(注射や点滴をしてもらった。薬をもらった。) ○治療をしなくても治ったのはなぜだと思いますか。 ・人間の体は、ある程度のけがや病気なら、自然に治すことができるようになっている。	薬学部教員(薬剤師) ・自然治癒力と薬などの力によるものに分けて板書する。 ・病気やけがを自分で乗り切るために、本来人間がもっている力を「自然治癒力」と言い、病気やけがから回復するときに働くことを説明する。 ・「自然治癒力」はあるが、強い病原体が入ったときや病気がこれ以上悪くなるのをおさえるためには「薬」の力が必要であることから、「薬」は「自然治癒力」を助け、病気やけがが早く治るようにしたり、重くならないようにしてくれるものであることを確認する。	・スライド(パワーポイント使用) 全6枚
展開前半	2. めあてを確認する。 ○医薬品を使うとき、気をつけることは何だろう。 3. 薬の外箱から、使用するとき気をつけることを見つける。 ○薬の外箱には、どんなこと(項目と用法・用量の内容のみ)が書かれているか調べてみよう。 ・ワークシートへ記入する。 ○書かれていたことを発表しよう。 ・用法・用量 ・成分 ・効能・効果 ・使用上の注意 ○みなさんの外箱の「用法」には、何と書かれていましたか。 ・ぼくのは、1日3回食後と書いてある。 ・わたしのは、1日2回食後と書いてある。	中学校教員 ・ワークシートを配布する。 ・薬の外箱を配布する。 薬学部教員(薬剤師) ・ワークシートには、あらかじめ「用法・用量」を例示しておき、どのように記入するとよいかわかるようにしておく。また、「用法・用量」のみ、具体的な記載内容を記入できる枠を作っておく。 ・薬の外箱には様々な情報が書かれていることに気づかせる。 ・何人か指名して発表させることで、薬によって用法が違うことに気づかせ、なぜ違うのか興味関心を引き出す。	・スライド(パワーポイント使用) 全6枚 ・ワークシート ・薬の外箱

展 開 後 半	4. なぜ、このようなことが決められているのか、説明する。 ○×クイズでは、生徒に挙手してもらう。	・外箱よりも説明書にはさらに詳しい内容が記載されていることを確認する。 ・マグネパネル「薬の運ばれ方」では血液の流れとともに薬が運ばれていくこと、マグネパネル「薬の血中濃度」では、薬の効き目は「体の中の薬の量（血中濃度）」で決まること、「薬の効き目が現れる範囲」を保つために、使用回数や使用時間、使用量が決められていることを話す。その中で主作用と副作用についておさえていく。 ・お薬を飲むときにはコップ一杯程度の水で飲むことについて、実験 1「ぺたぺた実験」、実験 2「飲み合わせ実験／ジュース実験」で確認する(動画)。 ・○×クイズを5問行い、他にも気をつけるべきことを話す。	スライド(パワーポイント使用) 全 24 枚 ・マグネパネル「薬の運ばれ方」動画 ・マグネパネル「薬の血中濃度」動画 ・実験 1 動画 ・実験 2 動画
ま と め	5. 本時の学習を振り返り、わかったことをワークシートにまとめる。 ○ワークシートに振り返りを書きましょう。 ○書いたことを発表しましょう。 ・「今まで薬を使うときにあまり考えずに飲んでいたけれど、これからは正しく使えるようにしていきたい。」	薬学部教員(薬剤師) ・数人指名して、次のことをおさえる。 ・医薬品は人間にとって有用なものであるが、 ①医薬品には主作用と副作用がある ②医薬品には、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法がある ③正しく使用する必要がある 次についても説明する。 ●中学生は、自分の判断で使わないで、必ず、おうちの人に相談する ●薬局では、「薬剤師さん」が相談にのってくれる(かかりつけ薬剤師)	・スライド(パワーポイント使用) 全 6 枚 ・ワークシートにまとめる
終 末	6. 薬を使うときに気をつけます。 これからは、薬を使うときには、少なくとも、このカードに記載されていることを守ります。	中学校教員 ・「薬の正しい使い方」携帯用カードが入ったストラップ付きカードホルダーを全生徒に 1 個ずつ配布する。 薬学部教員(薬剤師) ・このカードを時々確認し、薬を使うときに思い出し、いつも薬を正しく使うことが大切であることを説明する。 中学校教員 ・ワークシートと外箱を回収する。	・「薬の正しい使い方」携帯用カードが入ったストラップ付きカードホルダー